

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B 1)

(11)特許番号

第2947349号

(24)登録日 平成11年(1999) 7月2日

(45)発行日 平成11年(1999) 9月13日

(51)Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

B 6 5 D 73/00

H

A 2 3 B 4/00

A

B 6 5 D 73/00

// A 2 3 B 4/00

請求項の数2 (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平10-154082  
(22)出願日 平成10年(1998) 6月3日  
審査請求日 平成10年(1998) 6月3日

(73)特許権者 000118497  
伊藤ハム株式会社  
兵庫県神戸市灘区備後町3丁目2番1号  
(72)発明者 笠原 正彦  
兵庫県西宮市高畑町4番27号 伊藤ハム  
株式会社内  
(72)発明者 榎本 茂樹  
兵庫県西宮市高畑町4番27号 伊藤ハム  
株式会社内  
(72)発明者 三枝 浩二  
兵庫県西宮市高畑町4番27号 伊藤ハム  
株式会社内  
(74)代理人 弁理士 平木 祐輔 (外1名)

審査官 滑沢 良一

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 物品包装単体の連結体

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】 内部に物品を収納した物品収納部と該物品  
収納部の周囲を保持する周縁部とを備えた物品包装単体  
を、複数個位置をずらしてテープ片又はラベルで貼着連  
接した連結体において、

前記物品包装体と前記テープ片又はラベルとの貼着部  
は、前記物品収納部のみであり、前記テープ片又はラベ  
ルは、ミシン目、V字カット又はI字カットを備えてい  
ることを特徴とする物品包装単体の連結体。

【請求項2】 前記ミシン目、V字カット又はI字カット  
は、前記周縁部に位置されることを特徴とする請求項1  
に記載の物品包装単体の連結体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、物品包装単体の連

結体に係り、特に、複数の物品包装単体をテープにより  
貼着した連結体から各物品包装単体を簡易に分離し得る  
ようにしたスライスハム等の食肉物品包装単体の連結体  
に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来から、例えば、ハム、ソーセージ等  
の食肉物品を包装した食肉包装単体を複数連結した連結  
体においては、その位置をずらし重ねた各包装単体の  
上下面をテープ片（又はラベル）により貼着して連結す  
ることが一般的に行われている。前記従来の複数の物品  
包装単体を貼着連結した連結体は、例えば、食肉を収納  
する物品収納部とその周囲に位置する周縁部とからなる  
各物品包装単体をその位置を少しずらしてずらし重ねし  
た上で、これら各物品包装単体における各物品収納部と  
各周縁部との上下面をテープ片（又はラベル）の全面で

3  
 貼着することにより連接して形成されている。このような複数の物品包装単体の連結体は、包装を簡略化すると共に、その物品価格の割安感を消費者に対して喚起させて販売数量を増大させ、売上額の増額をしようとするものである。

#### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、物品包装単体の連結体を購入した消費者が包装されている内部の物品を取り出して使用する場合には、連結体から各物品包装単体を分離する必要があるが、前記のような構造からなる物品包装単体の連結体においては、テープ片（又はラベル）の全面が前記物品包装単体の連結体の収納部と周縁部とに貼着されていて、物品包装単体とテープ片（又はラベル）との接着面積が多くなっているために、テープ片を切断すること、あるいは剥離することが面倒であり、場合によっては、前記テープ片を切断するために刃物の使用を余儀なくされているのが実情である。

【0004】本発明は、このような問題に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、物品包装単体の連結に適用されたテープ片（又はラベル）を刃物等の器具を使用せずに容易に切断及び剥離可能とし、物品包装単体毎に簡単に分離・保管し得るようにした物品包装単体の連結体を提供することにある。

#### 【0005】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成すべく、本発明に係る物品包装単体の連結体は、内部に物品を収納した物品収納部と該物品収納部の周囲を保持する周縁部とを備えた物品包装単体を、複数個位置をずらしてテープ片又はラベルで貼着連接した連結体であって、前記物品包装体と前記テープ片又はラベルとの貼着部が、前記物品収納部のみであり、前記テープ片又はラベルが、ミシン目、V字カット又はI字カットを備えていることを特徴としている。また、前記ミシン目、V字カット又はI字カットは、前記周縁部に位置されることを特徴としている。

【0006】従って、本発明の物品包装単体の連結体は、物品包装体と前記テープ片又はラベルの貼着部を、前記物品収納部のみとしたので、連結体を各物品包装単体に分離するとき、前記テープ片又はラベルを物品包装体の貼着部でない部から剥がすことができると共に、テープ片又はラベルを、ミシン目、V字カット又はI字カット部分で切断できるので、該テープ片又はラベルの切断・剥離作業が容易で、連結体からの物品包装単体の分離が極めて簡単にできる。また、前記ミシン目、V字カット又はI字カットを前記周縁部に位置させて、貼着されていない部分でミシン目、V字カット又はI字カット部分を切断できるようにしたこと、連結体からの物品包装単体の分離が、特に、簡単にできる。

#### 【0007】

【発明の実施の形態】以下、図面により本発明の物品包

装単体の連結体に係るいくつかの実施形態について詳細に説明する。図1乃至3は、本発明の第一の実施形態における物品包装単体の連結体Aであって、各物品包装単体1, 1, 1は、複数枚のスライスハムを内部に収納した円形の収納部11, 11, 11と該収納部11, 11, 11の周縁に位置する角形の周縁部12, 12, 12を備えており、ミシン目が形成されたテープ片又はラベルで物品包装単体1, 1, 1の上下面を貼着して連接したものである。図1は、物品包装単体の連結体Aの上下面図であり、3個の物品包装単体1, 1, 1の位置をずらして重ね包装したもので、その各物品収納部11, 11, 11の上面の一部同士のみをテープ片又はラベル（以下、テープ片として述べる。）2の貼着部4で貼着によって連接し、前記テープ片2に形成されたミシン目21, 21部分を物品包装単体1, 1, 1の周縁部12, 12, 12に位置させて、該周縁部12, 12, 12は、テープ片2が貼着されていない。

【0008】図2は、前記図1に示した物品包装単体の連結体Aに係る上面図に対する下面図であり、位置をずらして重ねられた3個の物品包装単体1, 1, 1の連結体は、その各物品収納部11, 11, 11の一部同士のみがミシン目31, 31を備えたテープ片3の貼着部5で貼着によって連接され、前記ミシン目31, 31, 31部分は物品包装単体1, 1, 1の周縁部12, 12, 12に位置させて、該周縁部12, 12, 12は、貼着しない。

【0009】図3は、3個の物品包装単体1, 1, 1がミシン目21, 31を有するテープ片2, 3の貼着によって連接された前記図1及び図2に示した物品包装単体の連結体Aの側面図である。該図3から明らかなように、前記3個の物品包装単体1, 1, 1は、一方の物品包装単体1における物品収納部11の下面の一部が他方包装単体1における物品収納部11の上面の一部に対応するようにずらし重ねられており、各物品収納部11, 11, 11の上下面の一部は各テープ片2, 3の貼着部4, 5で貼着されており、テープ片2, 3のミシン目21, 31部分は、各物品包装単体1, 1, 1の周縁部12, 12, 12に位置し、貼着がなされていない。

【0010】このように連接構成された物品包装単体の連結体Aの各物品包装単体からハムを取り出す際、又は個々の物品包装単体として保管して置きたいときには、消費者は連結体Aから各物品包装単体1を分離することを行うが、この消費者におけるこの分離作業は、例えば、連結体Aの分離したい各物品包装単体1, 1, 1の各々を両手で各々把持したうえで、貼着された各テープ片2, 3のミシン目21, 31部分をその一端から順次切断して各物品包装単体を分離する。また、各物品包装単体1, 1, 1に貼着された各テープ片2, 3のミシン目21, 31部分を指先や爪等で切り裂いてテープ片

2, 3を切断することで分離してもよい。  
 【0011】このように分離された各物品包装単体1は、単にミシン目部分のみが切断されたもので、テープ片2, 3は該物品包装単体1から剥離されていないため、分離がきわめて容易であると共に、見た目にもよい。また、分離した後、物品包装単体に付着している各テープ片2, 3の切れ端を剥離したい場合には、各物品包装単体1, 1, 1に貼着されずに自由状態となっているミシン目21, 31部分を指先で摘んで引き剥がせばよく、各テープ片2, 3が各物品収納部11, 11, 11の一部のみに貼着してあるから、簡単で、かつ、きれいに剥離できる。

【0012】図4乃至6は、本発明の第二の実施形態における物品包装単体の連結体Bであって、ミシン目61, 71が形成されたテープ片6, 7で物品包装単体1, 1, 1の上下面を貼着したものである。図4は、前記図1と同様に、ずらし重ねられた3個の物品包装単体1, 1, 1をその各物品収納部11, 11, 11の上面の一部同士のみをテープ片6で貼着することによって接続し、前記テープ片6に形成されたミシン目61, 6120部分に物品包装単体1, 1, 1の周縁部12, 12, 12に位置させて、該周縁部12, 12, 12は、テープ片6が貼着されていない。

【0013】図5は、下面図であり、ずらし重ねられた3個の物品包装単体の連結体1, 1, 1は、各物品収納部11, 11, 11と各周縁部12, 12, 12とにテープ片7の全部分を貼着させており、ミシン目71, 71部分も貼着されることとなる。

【0014】図6は、3個の物品包装単体1, 1, 1がミシン目61, 71を有するテープ片6, 7でその上下面が貼着によって接続された連結体Bの側面を示しており、前記3個の物品包装単体1, 1, 1は、一方の物品包装単体1における物品収納部11の下面の一部が他方の物品包装単体1における物品収納部11の上面の一部に対応するようにずらし重ねられており、各物品収納部11, 11, 11の上面の一部は各テープ片6の貼着部4となるものであって、テープ片6は各物品包装単体1, 1, 1の各周縁部12, 12, 12と貼着されておらず、かつ、テープ片6のミシン目61部分は、各物品包装単体1, 1, 1の各周縁部12, 12, 12に位置し、貼着はされていない。他方、前記3個の物品包装単体1, 1, 1は、その下面の各物品収納部11, 11, 11と各周縁部12, 12, 12とがミシン目71, 71部分も含めてその全部分が貼着されているものである。

【0015】このように接続構成された物品包装単体の連結体Bは、特に、前記のような形態に各物品包装単体1, 1, 1の下面をテープ片7で貼着してあるので、手荒な取り扱い等に際しても各物品包装単体1, 1, 1がみだりに分離・散乱することがないと共に、上面はミシ

ン目61, 61部分で容易に切断される。  
 【0016】図7乃至9は、本発明の第三の実施形態における物品包装単体の連結体Cであって、ミシン目91が形成されたテープ片9とミシン目のないテープ片10とで物品包装単体1, 1, 1の上面と下面を貼着したものである。図7は、本実施形態の物品包装単体の連結体Cの上面図であり、ずらし重ねられた3個の物品包装単体1, 1, 1が、各物品収納部11, 11, 11の上面のみをテープ片9の貼着によって接続し、前記テープ片9に形成されたミシン目91, 91部分を物品包装単体1, 1, 1の周縁部12, 12, 12に位置させ、該周縁部12, 12, 12は、テープ片6が貼着されていない。

【0017】図8は、本実施形態の物品包装単体の連結体Cの下面図であり、ずらし重ねられた3個の物品包装単体1, 1, 1の連結体は、各物品収納部11, 11, 11がミシン目を備えないテープ片10によって貼着され、物品包装単体1, 1, 1の各周縁部12, 12, 12も貼着されない。

【0018】図9は、3個の物品包装単体1, 1, 1がミシン目91を有するテープ片9とミシン目を備えないテープ片10の貼着によって接続された連結体Cの側面を示しており、前記3個の物品包装単体1, 1, 1は、一方の物品包装単体1の物品収納部11の下面の一部が他方の物品包装単体1の物品収納部11の上面の一部に対応するようにずらし重ねられており、各物品収納部11, 11, 11の上面がテープ片9が貼着される貼着部30, 30とされ、かつ、各物品収納部11, 11, 11の下面は他方のテープ片10の一部が貼着される貼着部30, 30とされ、前記一方のテープ片9のミシン目91, 91部分を各物品包装単体1, 1, 1の各周縁部12, 12, 12に位置させ、該各周縁部12, 12, 12は貼着がなされていない。このように接続構成された物品包装単体の連結体Cは、各物品包装単体1, 1, 1の分離に際し、下面のミシン目を備えないテープ片10は切断しにくいものの、上面のミシン目91が容易に切断され、かつ、その下面の貼着部30, 30が狭小であることから、テープ片10の剥離作業が容易であり、ミシン目の加工を不要とするテープ片10の採用によるコストの低減化が可能となる。

【0019】図10乃至12は、本発明の第四の実施形態における物品包装単体の連結体Dであって、ミシン目が形成されたテープ片9とミシン目のないテープ片10とで物品包装単体1, 1, 1の上面と下面を貼着して接続したものである。図10は、本実施形態の物品包装単体の連結体Dの上面図であり、ずらし重ねられた3個の物品包装単体1, 1, 1が、各物品収納部11, 11, 11の上面の貼着部20, 20でテープ片9の貼着によって接続し、前記テープ片9に形成されてあるミシン目91, 91部分を物品包装単体1, 1, 1の周縁部1

(4)

2, 12, 12に位置させ、該周縁部12, 12, 12は、テープ片6が貼着されていない。

【0020】図11は、前記物品包装単体の連結体Dの下面図であり、ずらし重ねられた3個の物品包装単体1, 1, 1の連結体は、各物品収納部11, 11, 11と各周縁部12, 12, 12とが貼着部30でテープ片10の全面によって貼着されている。

【0021】図12は、3個の物品包装単体1, 1, 1がミシン目91を有するテープ片9とミシン目を備えないテープ片10の貼着によって接続された連結体Dの側面を示しており、前記3個の物品包装単体1, 1, 1は、一方の物品包装単体1の物品収納部11の下面の一部が他方の物品包装単体1の物品収納部11の上面の一部に対応するようにずらし重ねられており、各物品収納部11, 11, 11の上面がテープ片9が貼着される貼着部20, 20とされ、かつ、各物品収納部11, 11, 11の下面は他方のテープ片10の全面が貼着される貼着部30, 30とされ、前記一方のテープ片9のミシン目91, 91部分を各物品包装単体1, 1, 1の各周縁部12, 12, 12に位置させ、該各周縁部12, 12, 12は貼着がなされていないが、下面はミシン目のないテープ片10の全面で各物品収納部11, 11, 11と各周縁部12, 12, 12とを貼着させている。このように接続構成された物品包装単体の連結体Dは、他方のミシン目を備えないテープ片10が物品包装単体1, 1, 1の下面全体に強力に貼着されて切断・剥離作業がしにくいものの、製造・販売者にとっては大量の物品包装単体の連結体Dの搬送、陳列等に際して安易に取り扱うことが可能で、作業性の向上を図ることができる。

【0022】以上、本発明の各実施形態について詳述したが、本発明は前記実施形態に限定されるものではなく、特許請求の範囲に記載された本発明の精神を逸脱することなく設計において種々の変更ができるものである。例えば、本発明は、連結体から各物品包装単体の分離を容易とする手段としてテープ片にミシン目を形成するものを記載したが、この切断を容易にする手段としてはV字カット、I字カットを形成するようにしてもよい。

【0023】また、前記実施形態においては、スライスハムの物品包装単体の連結体について説明したが、該物品包装単体はスライスハムに限らず、他の食品の包装あるいは食品以外の他の物品包装単体の連結体としても使用できるものである。更に、テープ片又はラベルは、上面に一枚ずつ貼着するものとして説明したが、該テープ片又はラベルは一枚で上下面を貼着するようにしてもよい。

【0024】

【発明の効果】以上の説明から理解できるように、本発明の物品包装単体の連結体は、テープ片が各物品包装単

体の上面において物品収納部のみに貼着し、その貼着しない部分にミシン目を形成したことから、連結体から各物品包装単体を分離するとき、テープ片の切断・剥離作業が容易で、連結体からの物品包装単体の分離がきわめて簡単になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る物品包装単体の連結体の上面図。

【図2】図1で示した物品包装単体の連結体に係る下面図。

【図3】図1及び図2で示した物品包装単体の連結体に係る側面図。

【図4】本発明の第二の実施形態に係る物品包装単体の連結体の上面図。

【図5】図4で示した物品包装単体の連結体に係る下面図。

【図6】図4及び図5で示した物品包装単体の連結体に係る側面図。

【図7】本発明の第三の実施形態に係る物品包装単体の連結体の上面図。

【図8】図7で示した物品包装単体の連結体に係る下面図。

【図9】図7及び図8で示した物品包装単体の連結体に係る側面図。

【図10】本発明の第四の実施形態に係る物品包装単体の連結体の上面図。

【図11】図10で示した物品包装単体の連結体に係る下面図。

【図12】図10及び図11で示した物品包装単体の連結体に係る側面図。

【符号の説明】

- 1 物品包装単体
- 11 物品収納部
- 12 周縁部
- 2, 3, 6, 7, 9, 10 テープ片又はラベル
- 4, 5, 8, 20, 30 貼着部
- 21, 31, 61, 71, 91 ミシン目

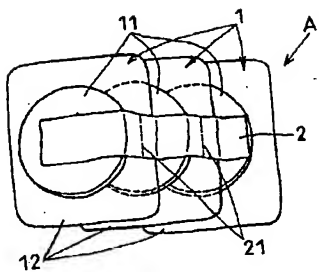
【要約】

【課題】 物品包装単体の連結に適用されたテープ片（又はラベル）を刃物等の器具を使用せず容易に切断及び剥離可能とし、物品包装単体毎に簡単に分離・保管し得るようにした物品包装単体の連結体を提供する。

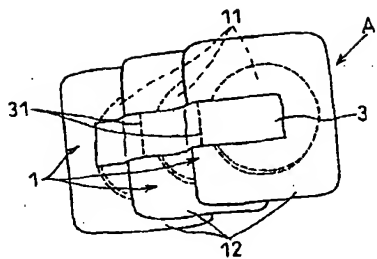
【解決手段】 内部に物品を収納した物品収納部と該物品収納部の周囲を保持する周縁部とを備えた物品包装単体を、複数個位置をずらして重ねてミシン目を備えたテープ片又はラベルで貼着接続した連結体において、物品包装単体と前記テープ片又はラベルとの貼着部が、連結体の物品収納部のみであり、ミシン目等が前記周縁部に位置してなる。

(5)

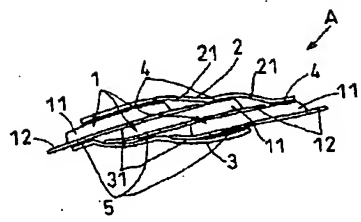
【図1】



【図2】

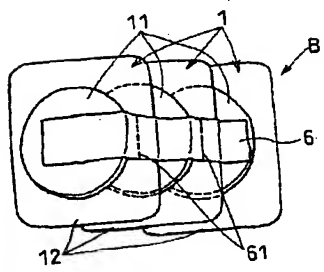


【図3】

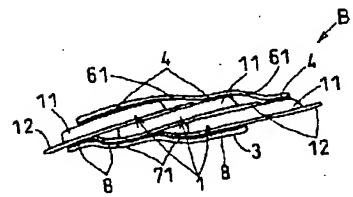
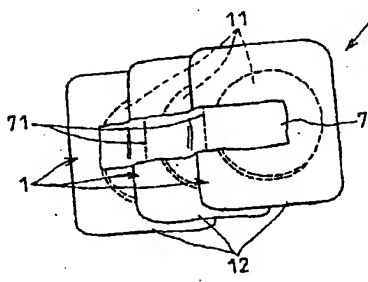


【図6】

【図4】

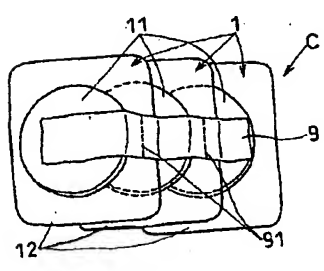


【図5】

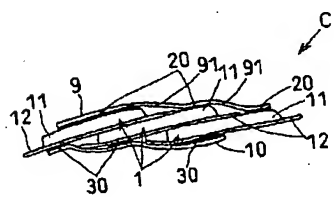
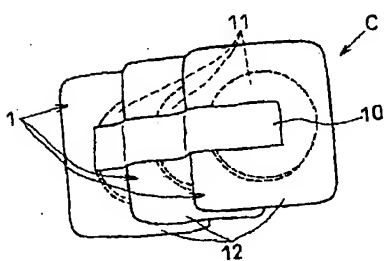


【図9】

【図7】

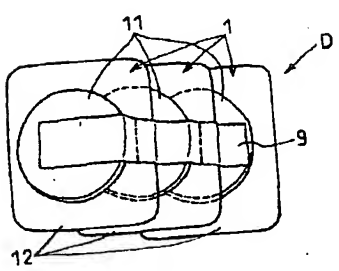


【図8】

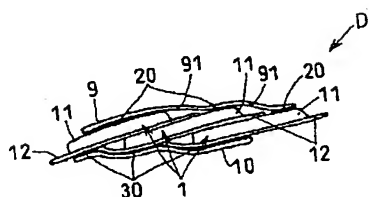
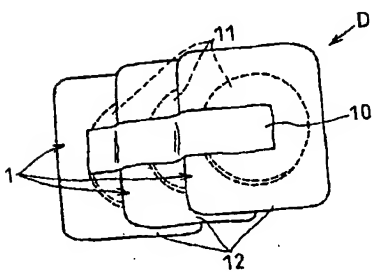


【図12】

【図10】



【図11】



## フロントページの続き

(72)発明者 藤井 徹也  
兵庫県西宮市高畑町4番27号 伊藤ハム  
株式会社内  
(72)発明者 丸岡 康幸  
兵庫県西宮市高畑町4番27号 伊藤ハム  
株式会社内

(56)参考文献 実開 平6-18268(JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl.<sup>6</sup>, DB名)

B65D 73/00  
A23B 4/00